

(令和6年度)

科目区分： 科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解

科目名	物理学	単位数	2	学科	理学昼間	期	前期
		時間数	30	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	小岩 正敏	実務 経歴	
担当教員	小岩 正敏		

概要	数式の使用を最小限にして、図など日常体験する例などを多用して物理学を直観的に理解できるよう努力を払い、力学を中心に電気・熱などの働きについて理解する能力と数理的処理能力を養えることを目指す。
一般目標 (GIO)	

教科書	「理解しやすい物理基礎」(文英堂)
参考書・教材	
履修上の注意点	数式の物理的な意味を説明するとともに、例と例題を適切に使って、物理量の理解及び物理法則の適用法の理解を身につける。(関数付き電卓の使用可)

実施回	授業内容	対応 CC	担当教員
1	物体の運動：日常に起こる物体の運動		小岩
2	： 相対運動		小岩
3	： 速度、加速度		小岩
4	： 落下の運動 1		小岩
5	： 落下の運動 2		小岩
6	： 運動の法則		小岩
7	力：力の合成と分解		小岩
8	：力のつり合い、作用と反作用、モーメント		小岩
9	：力のつり合いの応用 1		小岩
10	：力のつり合いの応用 2		小岩
11	エネルギー：熱と温度、熱エネルギー		小岩
12	電気：物質と電気、電流、電圧、抵抗と電気回路 1		小岩
13	：電流、電圧、抵抗と電気回路 2		小岩
14	：電流、電圧、抵抗と電気回路 3		小岩
15	：電流、電圧、抵抗と電気回路 4		小岩

成績評価	評価手段	割合(%)	基準および方法
	定期試験	100	評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験 60 点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。

科目区分： 基礎科目

科目名	生物学	単位数	2	学科	理学療法学科	期	前期
		時間数	30	学年	1学年	区分	昼間部

科目担当責任者	守屋 開	実務 経歴	
担当教員	守屋 開		

概要	生き延びるために最善を尽くし、受け継ぐものへエネルギーをつぎ込む生物の営みの本質を理解することにより、人間についても様々な角度から考察できるようにする。また、生きとし生けるものを慈しむ細やかな心を持ち、幅広い科学的な感性を身につけ、今後の学習や生活に反映させるとともに、将来に役立てるようにする。
一般目標 (GIO)	専門基礎科目や専門科目の基礎となるヒトを含む生物における本質を理解する。

教科書	生物学配付資料
参考書・教材	生物学配付資料、パワーポイント資料
履修上の注意点	最新情報も含め、生物学に興味関心を示し、学則及び履修規定にもとづき学習する。

実施回	授業内容	SBO (対応 CC)	担当教員
1	偶然と必然のはざままで(地球と生命)：生命の起源・自然の探究・科学		守屋 開
2	生きとし生けるものは(生物の特徴)：無生物・細胞・組織・器官・個体		守屋 開
3	生き延びるための変換(酵素と代謝)：生体物質・酵素・代謝・エネルギー		守屋 開
4	体調を整え万全を期す(体内の環境)：恒常性・自律神経系・ホルモン		守屋 開
5	生きるために敵と戦う(生体の防御)：自己と非自己・免疫		守屋 開
6	殖えて自身が生き残る(生殖と遺伝)：減数分裂・生殖・遺伝		守屋 開
7	生命の大切な設計情報(遺伝の情報)：染色体・DNA・遺伝情報		守屋 開
8	健全な体をつくりだす(発生と分化)：卵の発生・形態形成		守屋 開
9	光を受け最善を尽くす(植物の反応)：環境応答・植物ホルモン		守屋 開
10	情報を把握し対応する(動物の反応)：受容器・神経系・効果器		守屋 開
11	動いてチャンスを伺う(動物の行動)：行動・情報伝達・フェロモン		守屋 開
12	落ち着く場所を求めて(生体と環境)：景観・生態系・個体群・多様性		守屋 開
13	心と生活を深く豊かに(生活と生物)：産業・医療・環境・趣味		守屋 開
14	自然史は凡そ塞翁が馬(生物の進化)：生物の変遷・進化理論		守屋 開
15	過去を引きずり生きる(生物の系統)：種同定・分類・研究紹介		守屋 開

成績評価	評価手段	割合(%)	基準および方法
	定期試験	90	評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験 60 点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。
	授業態度	10	

科目名	社会福祉学	単位数	2	学科	理学昼間	期	前期
		時間数	30	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	宮越 美佳	実務 経験
担当教員	宮越 美佳	
概要	社会福祉の働きを学習するとともに、生活問題の原因と状況、その解決や予防について社会福祉の制度や援助実践がどのように行われているのかを概観し、社会福祉の理解を深める。また、患者・家族・他職種専門職とのコミュニケーションを通じて良好な人間関係を築く。	
一般目標 (GIO)	作業療法の成務を遂行する上で必要とされる社会福祉関係法規、自分自身を自己知覚し、クライアントや他職種 人との関係において必要とされるコミュニケーション力など、実践上必要とされる知識の習得を目指す。	

教科書	レジュメ(レジュメをまとめるファイル等各自用意してください)
参考書・教材	特になし
履修上の注意点	講義ごとに社会福祉援助技術演習を行うので、前講義に次講義に必要な物品を指示します。

実施回	授業内容	SBO (対応 CC)	担当教員
1	オリエンテーション、第1章 社会福祉学とは何か		宮越
2	第2章 社会福祉学の歴史的展開		宮越
3	第3章 社会福祉関係法規の流れ		宮越
4	第4章 介護保険法		宮越
5	第5章 障害者(児)の福祉の制度とサービス		宮越
6	第5章 障害者(児)の福祉の制度とサービス、第6章 産吾者自立支援法		宮越
7	第6章 産吾者自立支援法		宮越
8	第7章 医療制度		宮越
9	第8章 所得保障、第9章 年金制度		宮越
10	第10章 生活保護		宮越
11	第11章 権利擁護、第12章 ノーマライゼーション		宮越
12	第13章 インフォームド・コンセント、第14章 ケースワークの原則 1		宮越
13	第14章 ケースワークの原則 2		宮越
14	第14章 ケースワークの原則 2		宮越
15	第15章 環境の福祉		宮越

成績評価	評価手段	割合(%)	基準および方法 評価基準:出席、レポート作成及び試験 評価方法:出席及び授業態度を勘案する
	定期試験		
	レポート		

科目区分： 人体の構造機能及び心身の発達

科目名	生理学	単位数	4	学科	理学昼間	期	前期
		時間数	60	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	中嶋 俊雄	実務 経歴	
担当教員	中嶋 俊雄		

概要	人体の生理機能のうち動物的機能と呼ばれる部分（神経・筋肉・運動・感覚等）と植物的機能（内臓機能—循環・呼吸・消化・排泄・内分泌等）中心に講義する。
----	---

一般目標（GIO）	
-----------	--

教科書	標準理学療法学・作業療法学「生理学」（医学書院）
-----	--------------------------

参考書・教材	コンスタンゾ 明解生理学（エルゼビアジャパン）、「これならわかる要点 生理学」（南山堂）、やさしい生理学 第7版（南江堂）
--------	---

履修上の注意点	講義ごとに資料を配布する。高校との知識のギャップが非常に大きいので、教科書の予習、講義後の復習が望まれるだけでなく、練習問題への取組みが必須である。
---------	--

実施回	授業内容	対応 CC	担当教員
1・2	生命現象と人体、細胞の構造と機能	C-1	中嶋
3・4	神経の興奮伝達とシナプス	C-1	中嶋
5・6	末梢神経系と中枢神経系、自律神経系	C-1	中嶋
7・8	中枢神経 1（脊髄、脳幹）、中枢神経 2（小脳、大脳基底核、大脳辺縁系）	C-1	中嶋
9・10	中枢神経 3（大脳皮質、A B 神経系）	C-1	中嶋
11・12	筋系と骨系、感覚器系 1（一般的性質、体性感覚）	C-1	中嶋
13・14	感覚器系 2（視覚、聴覚、味覚、嗅覚、平衡感覚）	C-1	中嶋
15・16	血液の機能、循環器系の機能	C-1	中嶋
17・18	呼吸器系の機能	C-1	中嶋
19・20	泌尿器系の機能	C-1	中嶋
21・22	水分調節と酸塩基平衡	C-1	中嶋
23・24	消化器系の機能	C-1	中嶋
25・26	内分泌系の機能 1、内分泌系の機能 2	C-1	中嶋
27・28	代謝と体温調節	C-1	中嶋
29・30	生殖器系の機能、運動生理	C-1	中嶋

成績評価	評価手段	割合 (%)	基準および方法
	定期試験		評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験 60 点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。

理学療法学・作業療法学(前期)

2022年度 生理学 シラバス

- 1・2 生命現象と人体、細胞の構造と機能
- 3・4 神経の興奮伝達とシナプス
- 5・6 末梢神経と中枢神経、自律神経
- 7・8 中枢神経 1(脊髄・脳幹)、
中枢神経 2(小脳・大脳基底核・大脳辺縁系)
- 9・10 中枢神経 3(大脳皮質、AB 神経系)
- 11・12 筋系と骨系、感覚器系(一般的性質、体性感覚)
- 13・14 感覚器 2(視覚・聴覚・味覚・臭覚・平衡感覚)
- 15・16 血液機能と循環器機能
- 17・18 呼吸器系機能
- 19・20 泌尿器系機能
- 21・22 水分調節と酸塩基平衡
- 23・24 消化器系機能
- 25・26 内分泌系機能 1、内分泌系機能 2
- 27・28 代謝と体温調節
- 29・30 生殖器系機能、運動生理

科目区分： 疾病と障害の成立及び回復過程の促進

科目名	臨床心理学	単位数	2	学科	理学昼間	期	前期
		時間数	30	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	堀 琴美	実務 経歴	【資格】 臨床心理士・公認心理師 ・医療での臨床経験（病院で心理検査・心理療法等） ・福祉施設（婦人相談所・婦人保護施設）での臨床経験 ・教育臨床経験（大学教員と兼務で）学生相談室の相談業務
担当教員	堀 琴美		

概要	臨床心理学は、心に悩みや葛藤を持つ人がその問題を解決できるように援助するための理論や技術を追求する学問です。障害や疾病を持つ人の状況や気持ちを理解し、寄り添ってあたたかく支えていけるよう、知識や理論を学んでいきましょう。
----	--

一般目標（GIO）	1 臨床心理学の基礎知識と理論を習得し、用語を正しく使えるようになること 2 対人援助専門職として、心の問題と支援の方法について理解すること 3 国家試験を解く力を身につけること
-----------	---

教科書	カラー版徹底図解「臨床心理学」（新星出版社）
-----	------------------------

参考書・教材	毎回資料を配布します。すべての配布資料を保管して、復習してください。
--------	------------------------------------

履修上の注意点	・授業でおこなう対話やグループワークに積極的に参加し、質問や意見を述べてください。学んだことについて学生同士で話し、理解を深めてください。 ・授業中の私語、居眠り、スマートフォン等（電子媒体）の使用を禁止します。
---------	---

実施回	授業内容	対応 CC	担当教員
1	オリエンテーション／臨床心理学とは		堀
2	こころの構造・無意識・防衛機制Ⅰ		堀
3	防衛機制Ⅱ		堀
4	防衛機制Ⅲ・患者と治療者の関係（転移・逆転移）		堀
5	心理療法Ⅰ（集団療法・芸術療法）		堀
6	心理療法Ⅱ（カウンセリング理論）		堀
7	心理療法Ⅲ（自律訓練法・日本生まれの心理療法）		堀
8	学習理論と行動療法		堀
9	心理検査Ⅰ（アセスメントの方法・検査の分類・認知症検査）		堀
10	心理検査Ⅱ（人格検査・YG 検査をやってみよう）		堀
11	心理検査Ⅲ（質問紙と投影法）		堀
12	心理検査Ⅳ（知能検査と発達障害）		堀
13	障害受容（コーンのステージ理論、キューブラ・ロスの「死ぬ瞬間」）		堀
14	発達理論（エリクソンの発達課題・ピアジェの認知発達理論）		堀
15	補足とまとめ（記憶、アタッチメント、ストレス理論等）		堀

成績評価	評価手段	割合(%)	基準および方法 評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験 60 点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。
	定期試験	80	
	受講態度	10	
	発言内容	10	

科目区分： 人体の構造機能及び心身の発達

令和6年度

科目名	解剖学	単位数	4	学科	理学昼間	期	前期
		時間数	60	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	中嶋 俊雄	実務 経歴	
担当教員	中嶋 俊雄		
概要	人体の構造を学び、各器官の形態と機能について理解を深める。		
一般目標 (GIO)			

教科書	「標準理学療法学 作業療法学 専門基礎分野 解剖学」第4版 (医学書院)
参考書・教材	「ぜんぶわかる人体解剖図」(成美堂出版)
履修上の注意点	

実施回	授業内容	対応 CC	担当教員
1・2	<総論> ① 人体の区分と身体各部の名称	C-1-3	中嶋
3・4	② 全身の骨格の構造と骨の名称	C-1-3	中嶋
5・6	<各論> 頭部、顔面部、頸部の解剖 ① 脳と脊髄	C-1-3	中嶋
7・8	② 目、耳、鼻	C-1-3	中嶋
9・10	③ 口腔、咽頭、喉頭	C-1-3	中嶋
11・12	胸部の解剖 ① 呼吸器 (肺と気管)	C-1-3	中嶋
13・14	② 循環器 (心臓と血管)	C-1-3	中嶋
15・16	腹部の解剖 ① 消化器 (胃、小腸、大腸、肝臓、膵・脾臓)	C-1-3	中嶋
17・18	② 泌尿器 (腎臓、膀胱)、生殖器	C-1-3	中嶋
19・20	上肢の解剖 ① 肩甲骨、骨格と筋肉	C-1-3	中嶋
21・22	② 上肢の血管と神経、手の骨格と筋肉	C-1-3	中嶋
23・24	下肢の解剖 ① 下肢の骨格と筋肉	C-1-3	中嶋
25・26	② 下肢の骨格と血管、足の骨格と筋肉	C-1-3	中嶋
27・28	全身に広がる神経網、内分泌	C-1-3	中嶋
29・30	<総まとめ>	C-1-3	中嶋

成績評価	評価手段	割合 (%)	基準および方法
	定期試験		評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験 60 点以上および出席状況や授業態度などを 総合的に評価する。

科目区分： 疾病と障害の成立及び回復過程の促進

科目名	一般臨床医学（医学概論）	単位数	2	学科	理学昼間	期	前期
		時間数	30	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	池上 和洋	実務 経歴	
担当教員	池上 和洋		
概要	臨床医学全般を概観し、必要な基礎知識について講義する。		
一般目標（GIO）			

教科書	「PT・OTのための一般臨床医学」第3版（医歯薬出版）
参考書・教材	
履修上の注意点	毎回の復習は確実に実施するように

実施回	授業内容	対応CC	担当教員
1	医学のあゆみ	D-1,D-2	池上
2	現代医学の問題点：バイオエシックス インフォームド・コンセント	D-1,D-2	池上
3	産科学（妊娠と周産期）	D-1,D-2	池上
4	婦人科学	D-1,D-2	池上
5	頭部外傷と脳障害	D-1,D-2	池上
6	内部障害としての腎透析	D-1,D-2	池上
7	QOLを高めるためのターミナルケア	D-1,D-2	池上
8	耳鼻科疾患と障害	D-1,D-2	池上
9	眼科疾患と障害	D-1,D-2	池上
10	精神科疾患	D-1,D-2	池上
11	スポーツ医学	D-1,D-2	池上
12	救命救急医療	D-1,D-2	池上
13	泌尿器・生殖器疾患	D-1,D-2	池上
14	皮膚科疾患	D-1,D-2	池上
15	老人医療	D-1,D-2	池上

成績評価	評価手段	割合(%)	基準および方法
	定期試験		評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験 60 点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。

科目区分： 疾病と障害の成立及び回復過程の促進

科目名	病理学概論	単位数	2	学科	理学昼間	期	前期
		時間数	30	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	山野 茂	実務 経歴	
担当教員	山野 茂		
概要	基本病変及び主要疾患の原因・発生機序について、その形態学的変化とあわせて講義する。		
一般目標 (GIO)			

教科書	「カラーで学べる 病理学」改訂第4版 (ヌーヴェル・ヒロカワ)
参考書・教材	
履修上の注意点	

実施回	授業内容	対応 CC	担当教員
1	病理学の領域	C-4	山野
2	細胞・組織とその障害	C-4	山野
3	再生と修復	C-4	山野
4	循環障害	C-4	山野
5	炎症	C-4	山野
6	免疫とアレルギー	C-4	山野
7	感染症	C-4	山野
8	代謝異常	C-4	山野
9	老化と老年病	C-4	山野
10	新生児の病理	C-4	山野
11	先天異常	C-4	山野
12	腫瘍	C-4	山野
13	生命の危機	C-4	山野
14	各論	C-4	山野
15	各論	C-4	山野

成績評価	評価手段	割合 (%)	基準および方法 評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験 60 点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。
	定期試験		

科目区分： 科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解

科目名	心理学	単位数	2	学科	理学昼間	期	前期
		時間数	30	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	新井田 光希	実務 経歴	
担当教員	新井田 光希		

概要	現代心理学の基本的な理論と考え方を概説し、具体的な人間理解とその基本的技法について考察し、理学療法士として必要な理学的な基礎知識を習得する。
----	--

一般目標 (GIO)	
------------	--

教科書	「はじめて出会う心理学 改訂版」(有斐閣)
-----	-----------------------

参考書・教材	
--------	--

履修上の注意点	
---------	--

実施回	授業内容	対応 CC	担当教員
1	心理とは	D-5-1	新井田
2	感覚・知覚 I	D-5-1	新井田
3	感覚・知覚 II	D-5-1	新井田
4	学習と条件付け I	D-5-1	新井田
5	学習と条件付け II	D-5-1	新井田
6	記憶 I	D-5-1	新井田
7	記憶 II	D-5-1	新井田
8	言語と思考	D-5-1	新井田
9	欲求・動機づけ	D-5-1	新井田
10	感情・情動	D-5-1	新井田
11	発達 I	D-5-1	新井田
12	脳と心	D-5-1	新井田
13	人格	D-5-1	新井田
14	知能	D-5-1	新井田
15	社会的認知	D-5-1	新井田

成績評価	評価手段	割合 (%)	基準および方法
	定期試験		評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験 60 点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。

科目名	人間発達学	単位数	2	学科	理学昼間	期	前期
		時間数	30	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	榎 洋一	実務 経験
担当教員	榎 洋一	

概要	胎児期から、高齢期にかけての人間の発達について概説する。特に、身体的機能、運動的機能、心理的機能、社会性の発達に焦点を当てていく。
----	---

一般目標 (GIO)	人間の発達の諸側面 (身体、運動、精神、社会) を理解する。
------------	--------------------------------

教科書	「リハビリテーションのための人間発達学」(メディカルプレス)
-----	--------------------------------

参考書・教材	必要な資料を適宜配布する。
--------	---------------

履修上の注意点	
---------	--

実施回	授業内容	SBO (対応 CC)	担当教員
1	人間発達学の概要	C-3	榎
2	発達に関わる要因と発達の原理	C-3	榎
3	発達の主要理論	C-3	榎
4	胎児期の発達	C-3	榎
5	乳児期の発達Ⅰ：身体、運動の発達	C-3	榎
6	乳児期の発達Ⅱ：運動の発達、心の発達	C-3	榎
7	乳児期の発達Ⅲ：心と社会性の発達	C-3	榎
8	幼児期の発達Ⅰ：身体、運動の発達	C-3	榎
9	幼児期の発達Ⅱ：運動の発達、心の発達	C-3	榎
10	幼児期の発達Ⅲ：心と社会性の発達	C-3	榎
11	学童期の発達	C-3	榎
12	青年期の発達	C-3	榎
13	成人期の発達	C-3	榎
14	高齢期の発達	C-3	榎
15	総まとめ	C-3	榎

成績評価	評価手段	割合 (%)	基準および方法
	定期試験	80	評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験 60 点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。
	平常点	20	

科目区分： 科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解

科目名	情報科学	単位数	2	学科	理学昼間	期	後期
		時間数	30	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	山縣先生	実務 経歴	
担当教員	山縣先生		

概要	目標は、Excelの基本的な操作方法を学習し、Excelを用いた簡単なデータ処理ができるようになることである。また、統計学の知識を身につけ、パラメトリック検定、ノンパラメトリック検定を実施できることも目標となっている。
----	---

一般目標 (GIO)	
------------	--

教科書	「よくわかるMicrosoft Excel 2019基礎」(FOM出版)
-----	--------------------------------------

参考書・教材	
--------	--

履修上の注意点	授業中に作成したデータを保存するためのUSBメモリ等を用意すること。
---------	------------------------------------

実施回	授業内容	対応CC	担当教員
1	データの分類、代表値	B-6	杉野
2	散布度、母集団と標本	B-6	杉野
3	正規分布、標準化	B-6	杉野
4	Z検定	B-6	杉野
5	t検定	B-6	杉野
6	ここまでのまとめ	B-6	杉野
7	昼間試験	B-6	杉野
8	分散分析—参加者間	B-6	杉野
9	分散分析—参加者内	B-6	杉野
10	相関	B-6	杉野
11	X ² 検定	B-6	杉野
12	分散分析、相関、X ² 検定のまとめ	B-6	杉野
13	直接確立計算法、U検定、符号付順位検定	B-6	杉野
14	クラスカルウォリス検定、フリードマン検定	B-6	杉野
15	分散分析、ノンパラメトリック検定のまとめ	B-6	杉野

成績評価	評価手段	割合(%)	基準および方法
	定期試験	70	評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験60点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。
	平常点	30	

科目区分： 疾病と障害の成立及び回復過程の促進

科目名	内科学	単位数	2	学科	理学昼間	期	後期
		時間数	30	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	池上 和洋	実務 経歴	
担当教員	池上 和洋		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士にとって必要とされる内科的知識の習得 ・理学療法士国家試験のための基礎学力の習得 ・医療従事者として必要とされる最低限度のモラルの習得 		
一般目標 (GIO)			
教科書	「メディカルスタッフのための内科学」(伊東進 森博愛 編著)		
参考書・教材	1 講義につき補足プリント25枚程度		
履修上の注意点	国家試験の要求水準に応じた講義内容の作成とその習得		

実施回	授業内容	対応CC	担当教員
1	臨床医学総論 症状とその臨床学的意義	D-12	池上
2	感染症	D-12	池上
3	アレルギー疾患、自己免疫疾患、膠原病、免疫不全	D-12	池上
4	循環器疾患	D-12	池上
5	心電図	D-12	池上
6	呼吸器疾患	D-12	池上
7	消化器疾患	D-12	池上
8	肝・胆・膵疾患	D-12	池上
9	内分泌疾患	D-12	池上
10	代謝疾患	D-12	池上
11	血液造血器疾患	D-12	池上
12	腎 泌尿器疾患	D-12	池上
13	中毒 環境に基づく疾患	D-12	池上
14	脳血管疾患	D-12	池上
15	変性疾患	D-12	池上

成績評価	評価手段	割合(%)	基準および方法
	定期試験		評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験 60 点以上および出席状況や授業態度などを 総合的に評価する。

科目区分： 保健医療福祉リハビリテーションの理念

科目名	リハビリテーション医学概論	単位数	2	学科	理学昼間	期	後期
		時間数	30	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	中嶋 俊雄	実務 経歴	
担当教員	中嶋 俊雄		

概要	対象者の自立や社会参加に向けた支援をする医療チームの一員として、治療に参加するために必要な基礎知識・技能を培うため、代表的疾患に対するリハビリテーション、QOLの向上、社会復帰、在宅生活などについての学習を行う。
一般目標 (GIO)	

教科書	
参考書・教材	
履修上の注意点	

実施回	授業内容	SB0 (対応 CC)	担当教員
1	リハビリテーション医学とは	D-3	中嶋
2	診断と評価	D-3	中嶋
3	廃用症候群、誤用症候群、過用症候群	D-3	中嶋
4	筋疾患、筋ジストロフィー	D-3	中嶋
5	関節疾患、慢性関節リウマチ、人工関節	D-3	中嶋
6	脊髄損傷	D-3	中嶋
7	脊髄疾患 (二分脊髄を含む)	D-3	中嶋
8	発達障害	D-3	中嶋
9	末梢神経障害	D-3	中嶋
10	脳性麻痺	D-3	中嶋
11	脳血管障害	D-3	中嶋
12	切断と義肢	D-3	中嶋
13	高齢者リハビリテーション	D-3	中嶋
14	ハイリスク疾患、癌のリハビリテーション	D-3	中嶋
15	内部障害	D-3	中嶋

成績評価	評価手段	割合 (%)	基準および方法 評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験 60 点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。
	定期試験		

理学療法学・作業療法学(前期)

2022年度 リハビリテーション医学 シラバス

- 1 リハビリテーション医学とは
- 2 診断と評価
- 3 廃用症候群、誤用症候群、過用症候群
- 4 筋疾患、筋ジストロフィー
- 5 関節疾患、慢性関節リウマチ、人工関節
- 6 脊髄損傷
- 7 脊髄疾患（二分脊髄を含む）
- 8 発達障害
- 9 末梢神経障害
- 10 脳性麻痺
- 11 脳血管障害
- 12 切断と義肢
- 13 高齢者リハビリテーション
- 14 ハイリスク疾患、癌のリハビリテーション
- 15 内部障害

科目区分： 疾病と障害の成立及び回復過程の促進

科目名	小児科学	単位数	2	学科	理学昼間	期	後期
		時間数	30	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	池上 和洋	実務 経歴	
担当教員	池上 和洋		

概要	将来、現場で小児に携わるようになった時、少なくとも最初の数年の間にぶつかるであろう小児の諸問題を取り上げる。特に、療育という場面で小児に接することが多いと予想されるので、小児神経の領域、未熟児・新生児、重症心身障害児等の疾患について学習する。
----	---

一般目標 (GIO)	
------------	--

教科書	「小児科学」第4版 (医学書院)
-----	------------------

参考書・教材	
--------	--

履修上の注意点	毎回の復習は確実に実施するように
---------	------------------

実施回	授業内容	対応 CC	担当教員
1	小児科学概論	D-11	池上
2	診断と治療の概念	D-11	池上
3	新生児・未熟児疾患	D-11	池上
4	先天異常と遺伝病	D-11	池上
5	神経・筋・骨系疾患	D-11	池上
6	循環器疾患	D-11	池上
7	呼吸器疾患	D-11	池上
8	感染症	D-11	池上
9	消化器疾患	D-11	池上
10	内分泌・代謝疾患	D-11	池上
11	血液疾患	D-11	池上
12	免疫・アレルギー疾患、膠原病	D-11	池上
13	腎・泌尿器系、生殖器疾患	D-11	池上
14	腫瘍性疾患	D-11	池上
15	心身症、神経症等	D-11	池上

成績評価	評価手段	割合 (%)	基準および方法 評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験 60 点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。
	定期試験		

科目区分： 疾病と障害の成立及び回復過程の促進

科目名	神経内科学	単位数	2	学科	理学昼間	期	後期
		時間数	30	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	五十嵐 洋介	実務 経歴	
担当教員	五十嵐 洋介		

概要	<ul style="list-style-type: none"> 理学療法士国家試験の概要を正しく把握し、国家試験に確実に現役合格するための作戦を考える。 各種神経疾患を学びながら、上記①について実践していく。
一般目標 (GIO)	

教科書	「神経内科学」第4版 (医学書院) 「病気がみえるV o 1. 7脳・神経」(メディックメディア) 「基礎医学編」(医歯薬出版) 「臨床医学編」(医学書院)
参考書・教材	
履修上の注意点	

実施回	授業内容	対応 CC	担当教員
1	ガイダンス「敵 (国家試験) を正しく知る」/ 脳血管障害① (解剖・生理・急性期症状)	D-9, 10	五十嵐
2	脳血管障害② (脳血栓症と脳塞栓症、一過性脳虚血発作 (T I A)、脳内出血)	D-9, 10	五十嵐
3	脳血管障害③ (くも膜下出血、正常圧水頭症、動静脈奇形、もやもや病、硬膜下血腫)	D-9, 10	五十嵐
4	脳血管障害④ (国家試験問題演習・解説など)	D-9, 10	五十嵐
5	高次脳機能障害 (失語・失行・失認を中心に)	D-9, 10	五十嵐
6	変性疾患① (大脳基底核障害 (パーキンソン病) を中心に)	D-9, 10	五十嵐
7	変性疾患② (小脳障害 (オリブ橋小脳萎縮症) を中心に)	D-9, 10	五十嵐
8	球麻痺・仮性球麻痺/脳腫瘍	D-9, 10	五十嵐
9	頭蓋内圧亢進症、上位/下位運動ニューロン障害	D-9, 10	五十嵐
10	筋委縮症側索硬化症 (A L S)、錐体路	D-9, 10	五十嵐
11	感覚障害 (ブラウン・セカール症候群、脊髄空洞症など) / 脱髄性疾患① (多発性硬化症)	D-9, 10	五十嵐
12	脱髄性疾患② (ギラン・バレー症候群) /末梢神経障害、多発神経炎	D-9, 10	五十嵐
13	神経筋接合部疾患 (重症筋無力症) / 筋疾患 (筋原性・神経原性筋萎縮筋ジストロフィー)	D-9, 10	五十嵐
14	複合問題 (神経疾患の特徴、変性疾患 (病理)、性差、異常歩行など)	D-9, 10	五十嵐
15	錐体外路症状、脳波、髄膜刺激症状、神経疾患の評価、J C S、G C Sなど	D-9, 10	五十嵐

成績評価	評価手段	割合 (%)	基準および方法
	定期試験		評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験 60 点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。

科目区分： 科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解

科目名	保健体育	単位数	2	学科	理学昼間	期	後期
		時間数	30	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	廣田 邦生	実務 経歴	
担当教員	廣田 邦生		

概要	<p>1 運動の生理学と身体の変化についての正しい理解を学習するとともに、日常における運動の大切さを身につける。</p> <p>2 体力の正しい理解や救急法の在り方を習得する。</p>
一般目標 (GIO)	

教科書	必要に応じ独自プリント配布
参考書・教材	
履修上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習態度をきちんとすること。配布物は毎時間持参する。 ・登山及び救急救命実習については、必修を原則とする。(コロナ感染症により変更有)

実施回	授業内容	対応CC	担当教員
1	オリエンテーション 生命の起源 (1)		廣田
2	生命の起源 (2) 細胞と血液 (1)		廣田
3	細胞と血液 (2) 体力・スポーツ生理学 (1)		廣田
4	体力・スポーツ生理学 (2)		廣田
5	体力・スポーツ生理学 (3) 我が国の健康		廣田
6	前期中間テスト		廣田
7	運動と呼吸・発汗 (1)		廣田
8	運動と呼吸・発汗 (2)		廣田
9	体力作りスポーツ (藻岩山登山) (コロナ感染症により変更の場合、		廣田
10	9. 体力とトレーニング論 1 10. 体力とトレーニング論 2 とする。)		廣田
11	救急救命 (1) (理論)		廣田
12	救急救命 (2) (理論)		廣田
13	スポーツトレーニング論 (1)		廣田
14	スポーツトレーニング論 (2)		廣田
15	課題確認		廣田

成績評価	評価手段	割合 (%)	基準および方法 評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験 60 点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。
	定期試験		

科目区分： 科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解

科目名	英語	単位数	2	学科	理学昼間	期	後期
		時間数	30	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	堀琴美	実務 経歴	
担当教員	堀琴美		

概要	医療現場で英語のコミュニケーションができるようになるために、PT・OTがよく使う英語の表現方法や医療用語(身体部位や症状、基本的な肢位、院内の診療科や職名、器具の名称、体を動かすときに使う動詞など)を学びます。そして実際に使えるように練習していきます。
----	--

一般目標 (GIO)	
------------	--

教科書	「PT・OT が書いたリハビリテーション英会話」メディカルビュー社
-----	-----------------------------------

参考書・教材	教科書(音声ダウンロード利用可)、補助プリントを授業の中で配布します。
--------	-------------------------------------

履修上の注意点	(ダウンロード)を活用して、授業で学んだ内容をよく復習してください。履修上の注意点 日常生活のルーティンや最近のお気に入りなど、自分のことや身近なもの(単語でOK)を英語で言えるように、折に触れひとり練習をしてみてください。
---------	--

実施回	授業内容	対応CC	担当教員
1	オリエンテーション、コミュニケーションの基礎		堀
2	最初のあいさつ：自己紹介、職名、基本の情報		堀
3	痛む部位を聞いてみる:丁寧な表現で接する、身体部位		堀
4	痛みの種類や程度を聞く:10段階表現、場所の範囲、共感と相づちの表現		堀
5	基本の肢位、応用的な肢位:仰向け、四つ這い、手首を曲げるなど		堀
6	病院の中を歩く:診療科、〇〇室、病棟、受付、階層、行き方を案内する		堀
7	バイタルサインと時間表現、不規則動詞(現在・過去・現在進行形)		堀
8	可動域を測定する:前屈・後屈・測屈、反らせる、まわす、できるだけ...		堀
9	複雑な動きを表現する:腕を組む、抵抗する、前置詞の使い方		堀
10	感覚とバランス:目をつぶる、片足で立つ、ふらふらする、転ぶ		堀
11	歩行の表現・自宅練習を教える:運動回数・頻度、歩行補助具・福祉器具		堀
12	移乗動作・介助表現:介助しながら練習をする、安全配慮		堀
13	食事の動作:こぼす、手で持つ、箸を使って食べる		堀
14	入院患者の一日:起床、検温、入浴、回診、食事制限、消灯、院内ルール		堀
15	テスト範囲の総復習、確認		堀

成績評価	評価手段	割合(%)	基準および方法
	定期試験	80	評価基準:授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法:定期試験60点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。
	平常点	10	
	発言内容	10	

科目区分： 人体の構造機能及び心身の発達

科目名	生理学演習	単位数	2	学科	理学昼間	期	後期
		時間数	60	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	中嶋 俊雄	実務 経歴	
担当教員	中嶋 俊雄		
概要	生理学の講義で得られた知識を実習を通して、より深く理解する。実習器具や実験装置の取り扱いを知るとともに、出来る限り詳細な記録、観察を心がけ、より深い分析力、考察力を身につける。		
一般目標 (GIO)			
教科書	講師プリント		
参考書・教材			
履修上の注意点			

実施回	授業内容	対応 CC	担当教員
1・2	実習の目的、進め方、レポートの書き方	C-1	中嶋
3・4	実験結果のまとめ方、文献の調べ方、内容要約	C-1	中嶋
5・6	循環：心電図	C-1	中嶋
7・8	循環：血圧・心音・脈拍	C-1	中嶋
9・10	呼吸：呼吸曲線と呼吸気量	C-1	中嶋
11・12	呼吸：1秒率・呼吸運動	C-1	中嶋
13・14	筋電図（基本時の筋電図）	C-1	中嶋
15・16	筋電図（誘発筋電図①）	C-1	中嶋
17・18	筋電図（誘発筋電図②）	C-1	中嶋
19・20	筋電図：神経伝導速度	C-1	中嶋
21・22	神経・筋：筋委縮、加重・強縮	C-1	中嶋
23・24	脳波：基本脳波	C-1	中嶋
25・26	脳波：賦活脳波、睡眠脳波、誘発脳波	C-1	中嶋
27・28	感覚：体性感覚（皮膚の感覚点・2点識別・重量感覚）	C-1	中嶋
29・30	感覚：聴力、平衡感覚	C-1	中嶋

成績評価	評価手段	割合 (%)	基準および方法
	定期試験		評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験 60 点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。

理学療法学・作業療法学(後期)

2023年度 生理学演習 シラバス

1・2 実習目的、進め方、レポート作成

3・4 実験結果まとめ、文献検索方法、内容要約

5・6 循環：心電図

7・8 循環：血圧・心音・脈拍

9・10 中枢神経3(大脳皮質、AB神経系)

11・12 呼吸：1秒率、呼吸運動

13・14 筋電図(基本時の筋電図)

15・16 筋電図(誘発筋電図①)

17・18 筋電図(誘発筋電図②)

19・20 筋電図：神経伝達速度

21・22 神経・筋：筋委縮、加重・強縮

23・24 脳波：基本脳波

25・26 脳波：賦活脳波、睡眠脳波、誘発脳波

27・28 感覚：体性感覚(皮膚感覚点・2点識別・重量)

29・30 感覚：聴力、平衡感覚

科目区分： 疾病と障害の成立及び回復過程の促進

科目名	整形外科学	単位数	2	学科	理学昼間	期	後期
		時間数	30	学年	1	区分	必修

科目担当責任者	今井 智仁	実務 経歴	
担当教員	今井 智仁		
概要	整形外科で扱う疾病を理解させる。		
一般目標 (GIO)			

教科書	「Vital Signs (Revised Edition) ホスピタル・イングリッシュ〈改訂版〉」
参考書・教材	教科書、CD、補助プリント
履修上の注意点	状況に応じて進度の調整を行いながら、授業を進めていきます。 補助プリント等を活用し、丁寧に学習できるように努めます。

実施回	授業内容	対応 CC	担当教員
1	オリエンテーション	D-7	今井
2	骨、関節、筋、靭帯、神経、血管など、基礎的講義	D-7	今井
3	〃	D-7	今井
4	〃	D-7	今井
5	〃	D-7	今井
6	〃	D-7	今井
7	臨床に沿った解説 関節リウマチ、骨粗しょう症、運動器疾患、変形疾患など	D-7	今井
8	〃	D-7	今井
9	〃	D-7	今井
10	〃	D-7	今井
11	〃	D-7	今井
12	〃	D-7	今井
13	〃	D-7	今井
14	試験対策	D-7	今井
15	〃	D-7	今井

成績評価	評価手段	割合 (%)	基準および方法
	定期試験		評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験 60 点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。

科目区分： 疾病と障害の成立及び回復過程の促進

科目名	画像診断学	単位数	2	学科	理学昼間	期	前期
		時間数	30	学年	2	区分	必修

科目担当責任者	箕輪 和行	実務 経験	
担当教員	箕輪 和行		

概要	近年、画像診断技術の驚異的な発展が続いている。コンピュータ断層診断（CT）、磁気共鳴画像診断（MRI）の導入は診断能力を大きく向上させた。 これら医用画像をもとに、画像診断所見や臨床情報を習得する。
----	--

一般目標（GIO）	EBPTにつながる基本として、理学療法の実施に係る医用画像（CT、MRI、超音波エコー画像など）の評価を理解する。E-4-2)
-----------	---

教科書	「PT・OTのための画像診断マニュアル」（医学教育出版社）
参考書・教材	適宜資料を配布する。
履修上の注意点	特になし

実施回	授業内容	対応CC	担当教員
1	脳神経	E-4-2)①② ③	箕輪
2	脊髄：先天性病変		箕輪
3	：腫瘍		箕輪
4	頭頸部：先天性疾患		箕輪
5	：腫瘍		箕輪
6	胸部：呼吸		箕輪
7	心臓		箕輪
8	大血管		箕輪
9	腹部：肝臓		箕輪
10	：膵臓		箕輪
11	：脾臓		箕輪
12	消化器		箕輪
13	骨盤		箕輪
14	筋骨格系：肩関節・肘関節・手関節		箕輪
15	：股関節・膝関節・足関節		箕輪

成績評価	評価手段	割合(%)	基準および方法 評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。 評価方法：定期試験60点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。
	定期試験		

科目区分： 疾病と障害の成立及び回復過程の促進

科目名	精神医学		単位数	2	学科	理学昼間	期	前期
			時間数	30	学年	2	区分	必修
科目担当責任者	五十嵐 洋介	実務 経歴						
担当教員	五十嵐 洋介							
概要	精神医学の総論及び各論、特に各種の精神症、精神病（統合失調症、躁うつ病等）及び脳器質性症候群の具体像について講義する。							
一般目標（GIO）								
教科書	「精神医学」第4版（医学書院） 「病気がみえるV o l . 7 脳・神経」（メディックメディア） 「臨床医学編」2018版（医歯薬出版） 「基礎医学編」2018版（医歯薬出版）							
参考書・教材								
履修上の注意点								
実施回	授業内容					対応CC	担当教員	
1	ガイダンス 「国家試験に現実に現役合格するための作戦を考える」					D-6	五十嵐	
2	統合失調症① 幻覚と妄想					D-6	五十嵐	
3	統合失調症① 幻覚と妄想					D-6	五十嵐	
4	統合失調症② 幻覚のいろいろ、思考障害「専門用語に慣れていこう！」					D-6	五十嵐	
5	統合失調症② 幻覚のいろいろ、思考障害「専門用語に慣れていこう！」					D-6	五十嵐	
6	気分（感情）障害① 国家試験問題解説/うつ病、躁病とは？					D-6	五十嵐	
7	気分（感情）障害② うつ病、躁病の特徴について深く（自殺にも触れる。）					D-6	五十嵐	
8	気分（感情）障害③ 睡眠障害（不眠症）、診断基準（ICD-10、DSM-IV） 国家試験問題演習					D-6	五十嵐	
9	気分（感情）障害③ 睡眠障害（不眠症）、診断基準（ICD-10、DSM-IV） 国家試験問題演習					D-6	五十嵐	
10	認知症 国家試験問題解説 A i z h e m e型老年認知症、脳血管性認知症					D-6	五十嵐	
11	認知症 国家試験問題解説 A i z h e m e型老年認知症、脳血管性認知症					D-6	五十嵐	
12	せん妄依存・中毒 国家試験問題解説 せん妄、依存の3要素					D-6	五十嵐	
13	せん妄依存・中毒 国家試験問題解説 せん妄、依存の3要素					D-6	五十嵐	
14	依存・中毒薬物療法 アルコール依存症など 向精神薬と抗精神病薬の違いは？					D-6	五十嵐	
15	依存・中毒薬物療法 アルコール依存症など 向精神薬と抗精神病薬の違いは？					D-6	五十嵐	
成績評価	評価手段	割合(%)	基準および方法					
	定期試験		評価基準：授業への出席率2/3以上で定期試験の受験資格を得る。					
			評価方法：定期試験 60点以上および出席状況や授業態度などを総合的に評価する。					